

①

日本史

Ⅰ 次のA～Dの資料は中国の歴史書に見られる古代の日本の記録の一部である。よく読んで各問いに答えよ。

- A 建武中元二年、倭の奴国、貢を奉じて朝貢す。使人自大夫と称す。倭国の極南海なり。ア、鴈に印綬を以てす。
- B 倭人は帯方の東南大海の中に在り、山島に依りて国邑を爲す。旧百余国、漢の時朝見する者あり。今使訳通ずる所三十国。……邪馬台国に至る。イ女王の都する所なり。
- C 夫れ東瀛海中に倭人有り、分れて百余国と爲る。歳時を以て来り獻見すと云う。
- D 興死して弟武立つ。……順帝の昇明二年、使を遣して曰く、「封国は偏遠にして、藩を外に作す。昔より祖禰躬ら甲冑を損き、山川を跋涉して寧處に違あらず。東は毛人を征すること五十五国、西は衆夷を征すること六十六国、渡りて海北を平ぐること九十五国……」と。

問1 A～Dが正しい年代順に並んでいるものはどれか。次の①～⑤から一つ選び、番号で答えよ。

- ① A－B－C－D ② A－C－B－D ③ A－C－D－B
④ C－A－B－D ⑤ C－A－D－B

問2 アに入る当時の中国王朝の皇帝を書きなさい。

問3 下線部*イ*の女王の名前を書きなさい。

問4 資料Cの記載がある中国の歴史書はどれか。次の①～⑤から一つ選び、番号で答えよ。

- ① 「史記」 ② 「漢書」 ③ 「後漢書」 ④ 「魏志」 ⑤ 「宋書」

問5 資料Dが書かれた時代（4世紀後半～5世紀）の日本の社会のようすとして、ふさわしくないものを次の①～④から一つ選び、番号で答えよ。

- ① 倭の兵が朝鮮半島にわたり、高句麗軍と戦った記録が好太王碑に記されている。
- ② このころ、渡来人とよばれる多くの人がとが海をこえて渡ってきた。彼らは鉄器や土器の生産や機械・土木などの技術、文字の知識などを日本に伝えた。
- ③ このころ、呪術的な風習として、災害をまぬかれるための禊・祓や、鹿の骨を焼いて吉凶を占う太占の法、熱湯に手を入れてさせて真偽を確かめる盟神探湯などがおこなわれた。
- ④ 白村江の戦に敗れたのち、大陸からの攻撃に備えて九州北部に水城や山城を築いて国防の強化をはかった。

Ⅲ 江戸時代の文化に関するA～Cの文章を読み、各問いに答えよ。

- A 幕政の安定と経済の発展を背景として、元禄文化とよばれる多彩な文化が展開された。
- B 宝暦・天明期には、幕藩体制の動揺を克服する動きや、町人の経済活動の充実を反映した文化が生まれた。
- C 三都の繁栄を背景に多様に花開いた化政文化は、全国に、また幅広い階層になわれた。

問1 Aの文化の説明として、適切ではないものを、次の①～④から一つ選び、番号で答えよ。

- ① 江戸や上方を中心に歌舞伎が人気を博し、鶴屋南北の『東海道四谷怪談』に代表されるように、好色・怪奇な演目が好まれた。
- ② 近松門左衛門が脚本を書いた人形浄瑠璃の作品は、人形遣いの辰松八郎兵衛らが演じ、竹本義太夫らによって語られ、民衆の共感をよんだ。
- ③ 外国からの影響が少なくなり、日本独自の文化が成熟した。
- ④ 平和で安定した社会のもとで、儒学が奨励され、実証的な古典研究や自然科学の学問が発展した。

問2 「奥の細道」で有名な元禄文化を代表する俳人は誰か。

問3 Bの文化と関係する人物とその作品の組み合わせとして誤っているものを、次の①～⑤から一つ選び、番号で答えよ。

- ① 杉田玄白 — 『解体新書』 ② 本居宣長 — 『古事記伝』
③ 堀保己 — 『群書類従』 ④ 竹田出雲 — 『仮名手本忠臣蔵』
⑤ 東洲斎写楽 — 『雪松図』

問4 Cの文化の時代の学問・思想の説明として、適切ではないものを、次の①～④から一つ選び、番号で答えよ

- ① 外圧の強まりに応じて、国防論と開国論がうまれ、なかには積極的な海外貿易論を展開する者もあらわれた。
- ② 江戸の湯島聖堂を中心に朱子学が儒学の主流として発展した。
- ③ 洋学がさかんになり、シーボルトが長崎郊外に鳴滝塾を、緒方洪庵が大坂に適々斎塾を開いて多くの人材を育成した。
- ④ 伊能忠敬は全国の海岸を実測し、「大日本沿海輿地全図」の完成へ道を開いた。

問5 「富嶽三十六景」で有名な浮世絵画家の葛飾北斎が活躍したのは、A・B・Cのどの時代か。

Ⅱ 室町時代の対外関係に関するA～Dの文章を読み、各問いに答えよ。

- A 国内を統一した3代将軍 ア は、1401年、明に使者をおくって国交を開き、明との貿易をおこなうようになった。
- B 北九州や瀬戸内海沿岸の住民たちが船団を組んで私的貿易に従事し、ときには米や人を略奪するなどの海賊行為をおこなった。
- C 沖縄では、15世紀前半に イ が分立していた三山を統一して琉球王国をつくりあげた。琉球王国は諸国のあいだの中継貿易をさかんにおこない繁栄した。日本も琉球をつうじて南方の産物を得て、これを朝鮮に送りこむ貿易をおこなった。
- D 蝦夷地とよばれた北海道では13世紀ころからアイヌの文化が成立し、津軽の十三湊を根拠地とする安藤氏とアイヌとの交易もおこなわれた。しかし、和人とよばれる本州の勢力は、先住のアイヌをしだいに圧迫していった。1457年、大酋長 ウ を中心としたアイヌの蜂起がおこり、これをしずめた蠣崎氏が勢力を強めていった。

問1 アに適する将軍を書きなさい。

問2 Aの文章にある日明貿易の説明として適切ではないものを、次の①～④から一つ選び、番号で答えよ。

- ① 日明貿易は、日本国王が明の皇帝にみつぎ物をささげてあいさつし、それに対して皇帝がねぎらうという朝貢貿易の形式でおこなわれた。
- ② 幕府は堺や博多の特権商人に朱印状を与え貿易を奨励した。
- ③ 貿易の費用はすべて明側が負担したので、日本側の利益は大きかった。
- ④ 15世紀後半、細川氏と大内氏が貿易の実権をにぎって争うようになり1523年、寧波の乱がおこった。

問3 Bの文章にある海賊行為をおこなった日本人を、中国や朝鮮の人びとは何とよんで恐れたか。

問4 イに適する人物を次の①～④から一つ選び、番号で答えよ。

- ① 尚巴志 ② 好太王 ③ 李成桂 ④ 李舜臣

問5 ウに適する人物を次の①～④から一つ選び、番号で答えよ。

- ① フビライ ② アテレイ ③ シャクシャイン ④ コシャマイン

Ⅳ 明治新政府の政策に関する次の文章を読み、各問いに答えよ。

新国家の建設をすすめる明治政府は、1868年3月、アを公布し、公議世論の尊重や開国和親など新政府の方針を示した。また、同時に民衆に対してイ五榜の掲示を出した。同年閏4月には政治組織を定めるロ政体書を公布した。

中央集権国家の樹立をめざす明治政府は、1869年1月、薩長土肥の4藩主に、エを上表させた。続いて多くの藩がこれにならった。明治政府はこの願いをうけるというかたちで、同年6月、全国の土地と人民を支配下においた。しかし、一気に藩を廃止することへの抵抗が大きく、結局、藩の名前は残し、旧藩主をそのまま知藩事に任命した。その後、1871年7月にオを断行して全国の知藩事を罷免し、中央から府知事・県令を派遣した。ここに中央集権化が達成された。

問1 アに適する語句を書きなさい。

問2 下線部*イ*五榜の掲示の内容として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、番号で答えよ。

- ① キリスト教信仰の禁止 ② 帯刀の禁止 ③ 職業選択の自由
④ 男女平等 ⑤ 四民平等

問3 下線部*ロ*政体書の内容として正しくないものを、次の①～④から一つ選び、番号で答えよ。

- ① 政治権力が太政官に集中する政治組織であった。
- ② 立法・司法・行政の三権分立の形をとり入れた。
- ③ 国会の設立を約束した。
- ④ 官吏を公選制とした。

問4 エに適する語句を書きなさい。

問5 オに適する語句を書きなさい。

③

④

⑤

V 第2次世界大戦後の日本の経済に関する次の文章を読み、各問いに答えよ。

日本は戦争によって多くの生産資源を失い、終戦翌年の鉱工業生産は戦前の3割程度までに落ちこんだ。生産基盤を立て直すために、限られた資金と資源を鉄鋼や石炭などの基幹産業に重点的にそそぎこむ、いわゆる「ア」が採用された。経済の復興をはかるとともに経済の民主化が進められ、(イ)GHQのもとで、諸改革が断行された。しかし物不足は解消されず、しかも通貨量が増大したことから、激しいインフレーションが進行した。

インフレをおさえるために、1948年、GHQは経済安定九原則の実施を指令し、9原則を財政面から支えるために税制改革を実施させた。その結果、インフレは抑制されたものの、不況が深刻化し、中小企業の倒産があいついだ。

一進一退をくり返していた日本経済は1950年にはじまった「ウ」戦争を機に一変した。戦争が始まるとアメリカ軍による特需が生まれ、日本経済ははるかに活気づいた。そして戦後しばらくすると、日本経済は戦前の水準を回復し、(ロ)1955～73年の20年近くにわたる高度経済成長期をむかえた。

問1 「ア」に適する政策を次の①～④から一つ選び、番号で答えよ。

- ① レッドバージ ② シャープ勧告 ③ 傾斜生産方式 ④ ドッジ＝ライン

問2 下線部*イ*に関して、GHQの最高司令官は誰か。

問3 下線部*イ*に関して、諸改革の内容として正しくないものを次の①～④から一つ選び、番号で答えよ。

- ① 経済民主化のひとつとして財閥解体がおこなわれた。
② 寄生地主制を解体するため農地改革を断行した。
③ 労働者の地位を向上させるための労働三法がつけられた。
④ 為替レートを単一為替レートから変動為替レートに変更した。

問4 「ウ」に適する語句を答えなさい。

⑥

問5 下線部*ロ*に関して、高度経済成長期の内容としてふさわしくないものを次の①～④から一つ選び、番号で答えよ。

- ① 石炭から石油へのエネルギーの転換が急速にすすんだ。
② 日本の貿易黒字は大はばに拡大し、欧米諸国とのあいだに貿易摩擦が生じた。
③ いわゆる「三種の神器」を中心に、家電が爆発的に普及し、「消費は美德」と考えられるようになった。
④ 工場の排出する有害物質による大気汚染や水質汚濁、騒音・地盤沈下など、さまざまな公害が発生した。

VI 農村と都市に関する次のA～Cの文章を読み、各問いに答えよ。

A 日本では古代から中世にかけて幾度となく遷都がおこなわれた。そのなかで人々が住む京城をそなえた最初の本格的な都といわれるのは、694年に遷都された「ア」である。その後、710年には平城京に遷都したが、疫病や飢饉などが続いたため「イ」は短期間のうちに遷都をくりかえし、745年に平城京にもどした。その後、桓武天皇は784年に「ウ」に遷都し、10年後に都は(ロ)平安京に移った。

B 戦国時代には(ハ)多様な形態の都市が成立した。

C 豊臣政権では、農民に対して田畑の所有権を認め、石高に応じた年貢の納入を義務づけると同時に、その職業と土地に固定するための(ニ)一連の施策が行われた。また、領主は農民層の直接的な掌握を強めた。

江戸時代には、農民は日常の労働や暮らしまで細かく統制されることになった。百姓の小経営をできるだけ安定させるために「キ」などが定められ、また日常の労働や暮らしにこまごまと指示を与えるための法令や御触が出された。一方で、徳川幕府は、(ホ)年貢の徴収や諸役の割当てを村の自治的な組織に依存した。それは(ヘ)村方三役を中心にしたものであった。また、(ニ)年貢の納入や犯罪の防止のために農民は数戸ずつに編成され、連帯責任を負わされた。

問1 「ア」に適する都の名称を書きなさい。

問2 「イ」に適する天皇を、次の①～④から一つ選び、番号で答えよ。

- ① 天智天皇 ② 天武天皇 ③ 元明天皇 ④ 聖武天皇

問3 「ウ」に適する都を、次の①～④から一つ選び、番号で答えよ。

- ① 恭仁京 ② 難波宮 ③ 長岡京 ④ 福原京

問4 下線部*ロ*に関して、平安京造営にあたり模範とした唐の都はどこか。

問5 下線部*イ*に関して、巡礼の旅人でにぎわう有名寺社のあるところに成立した町を何とよぶか。

問6 下線部*ロ*に関して、会合衆による自治がおこなわれ、深い堀と海に囲まれた平和な自治都市としてヨーロッパにも知られていた都市はどこか。

問7 下線部*ロ*の一連の施策として誤っているものを、次の①～④から一つ選び、番号で答えよ。

- ① 惣無事令 ② 検地 ③ 一地一作人 ④ 人掃令

問8 「キ」に適する語句を、次の①～④から一つ選び、番号で答えよ。

- ① 豊田永年私財法 ② 棄捐令 ③ 旧里帰農令 ④ 田畑永代売買の禁令

問9 下線部*ロ*と*ロ*を意味する語句の組み合わせとして正しいものを、次の①～④から一つ選び、番号で答えよ。

- ① 村請制 ― 仲間 ② 村請制 ― 五人組
③ 場所請負制 ― 仲間 ④ 場所請負制 ― 五人組

問10 地下線部*ロ*の村方三役として正しいものを、次の①～④から一つ選び、番号で答えよ。

- ① 名子・番頭・譜代 ② 名子・組頭・譜代
③ 名主・番頭・百姓代 ④ 名主・組頭・百姓代

⑦

⑧

日本史

問	解答番号	解答例
I	問 1	④
	問 2	光武帝
	問 3	卑弥呼
	問 4	②
	問 5	④
II	問 1	義満
	問 2	②
	問 3	倭寇
	問 4	①
	問 5	④
III	問 1	①
	問 2	松尾芭蕉
	問 3	⑤
	問 4	②
	問 5	C
IV	問 1	五箇条の御誓文
	問 2	①
	問 3	③

問	解答番号	解答例
	問 4	版籍奉還
	問 5	廃藩置県
V	問 1	③
	問 2	マッカーサー
	問 3	④
	問 4	朝鮮
	問 5	②
VI	問 1	藤原京
	問 2	④
	問 3	③
	問 4	長安
	問 5	門前町
	問 6	堺
	問 7	①
	問 8	④
	問 9	②
	問 10	④